

愛知県立知立東高等学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。



知立東高校の歴史と現在

知立東高校は、東海道の日本橋から数えて39番目の宿場町、「池鯉鮒（ちりゅう）宿」として整備された由緒あるこの知立の地に、昭和61年4月に開校し、以来39年の歴史を刻み、13,834人も卒業生を輩出しています。その間、地域の皆様からご支援をいただき、その熱い期待に応えるべく、「知・徳・体の調和のとれた活力ある人間」の育成をめざして、生徒・教職員が一丸となって充実した教育活動を推進しています。令和7年度も1年から3年まで9クラス編成の計27クラス、生徒数が1,000人を超える大規模校です。そして、**今年は40周年を迎えます**。伝統校の仲間入りです。伝統校の名に恥じない学校運営をしていきます。

知立東高校の教育

本校の教育方針を「愛知県立知立東高等学校 スクール・ポリシー」で示しています。その中で強調したいことは、「志を高く掲げ、粘り強く最後まで頑張る」ということです。その気持ちは本校生徒たちに脈々と受け継がれ、生徒と教員集団とのチームワークによって、手厚い進学指導体制を維持し続けています。今年度も、地元の名古屋大学・名古屋工業大学・愛知教育大学・愛知県立大学をはじめ、近隣の岐阜大学・三重大学・静岡大学・信州大学等の国公立大学に合格し、また、私立大学も、地元の南山大学、名城大学、愛知大学をはじめ、同志社大学、立命館大学などに多数が合格し、多くの生徒が希望する大学へ進学しました。

また、知立東高校は「総合的な探究の時間」を通して、キャリアプランニング能力の基盤づくりや課題発見をテーマにした探究活動を実施しています。加えて、知立市と連携し、生徒たち自身で調査を進め、地域活性化に向けてアイデアを知立市に提案しています。

さらに、理数教育の推進として、あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」推進校にもなっており、複数の生徒たちが地元の大学へ出向き、大学の先生方の指導を受けながら研究・発表しています。

また、特別活動では、運動部と文化部あわせて22の部活動と1つの同好会があり、どの部も熱心に活動しています。陸上競技、サッカー、ハンドボール、バレーボール、水泳、テニス、バドミントン、卓球、体操、新体操、弓道、囲碁将棋、美術など、多くの部が県大会に出場しています。令和5年度は、囲碁将棋部、弓道部が東海大会に出場しました。令和6年度は、2年連続で弓道部が東海大会、美術部は愛知県で最優秀で令和7年度の全国大会高文連に出場することが決まっています。また、自然科学部、吹奏楽部、茶華道部などは地域と連携してさまざまな場所で発表をして活発に活動しています。さらに、部ではありませんが、英語スピーチコンテストが東海大会(R5)、エアロビクスが世界大会(R5、R6)、レスリングがアジア大会(R5)、空手が世界大会(R6)などに出場するなど個々の活躍も目立ちます。

知立東高校の環境

知立市のほぼ中心に名鉄知立駅があり、名鉄名古屋本線と三河線とが接続しているため、地元知立市はもちろん、隣接する刈谷市、安城市、豊田市や、名鉄沿線の高浜市、碧南市、豊明市までとても広い範囲が通学地域となっています。名鉄知立駅から学校までは少し遠いですが、自転車で10分以内という好立地ではあります。広範囲から通学するには便利な交通アクセスのよい学校と言えます。

学習環境も大変恵まれています。知立東高校の南側には、のどかな田園地帯が広がっており、北側に隣接する大型商業施設を含めた街の景観と、とても対照的です。現在工事をしている箇所もありますが、

開放感のあるキャンパスや充実した施設は、たくましい気力や体力を養い高校生活を充実させるには最適な施設環境と言えます。

中学生の皆さんへ

知立東高校は、自分を鍛え、自分を磨き、あなたの夢を実現できる学校です。あなたも一緒に知立東高校の歴史をつくりませんか。皆さん一人一人が内に秘めた可能性を最大限に伸張させるべく、私たち教職員一同、最大限の努力をしていきます。

最後に、このサイトをご覧いただいた皆さまに感謝するとともに、躍動する本校生徒の様子をぜひ生でもご覧いただきたいと思います。今後とも本校の教育活動にご理解とご支援をお願い申し上げます。

愛知県立知立東高等学校
校長 渡辺 喜長